

# マイクロマシン／MEMS 分野関連 【2020 年 10 月の経済報告】

2020 年 10 月 26 日

(一財) マイクロマシンセンター  
(<http://www.mmc.or.jp/>)

本稿は、マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

## 掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
  - ・ 内閣府公表 月例報告、機械受注統計調査報告 より
  - ・ 経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

## 1. 全般動向

### ■ 景気動向指数 令和 2 (2020) 年 8 月分 (速報) の概要 (内閣府、令和 2 (2020) 年 10 月 7 日発表 より抜粋)

- ① 8 月の C I (速報値・平成 27(2015)年=100) は、  
先行指数：88.8、一致指数：79.4、遅行指数：89.7 となった

先行指数は、前月と比較して 2.1 ポイント上昇し、3 か月連続の上昇となった。  
3 か月後方移動平均は 3.43 ポイント上昇し、2 か月連続の上昇となった。  
7 か月後方移動平均は 0.23 ポイント下降し、27 か月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して 1.1 ポイント上昇し、3 か月連続の上昇となった。  
3 か月後方移動平均は 2.74 ポイント上昇し、16 か月ぶりの上昇となった。  
7 か月後方移動平均は 2.16 ポイント下降し、22 か月連続の下降となった。

遅行指数は、前月と比較して 2.7 ポイント下降し、2 か月連続の下降となった。  
3 か月後方移動平均は 0.76 ポイント下降し、13 か月連続の下降となった。  
7 か月後方移動平均は 1.76 ポイント下降し、13 か月連続の下降となった。

- ② 一致指数の基調判断  
景気動向指数 (CI 一致指数) は、下げ止まりを示している。

詳細は以下の内閣府 ホームページをご参照下さい。

- ・ 景気動向指数「令和 2 (2020) 年 8 月分 (速報) の概要」 pdf へ：  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202008psummary.pdf>
- ・ (ご参考) 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

## 2. 各経済指標

### ■ 月例経済報告（10月）（内閣府、令和2年10月23日（金）公表） （月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より抜粋）

#### <日本経済の基調判断>

（現状）

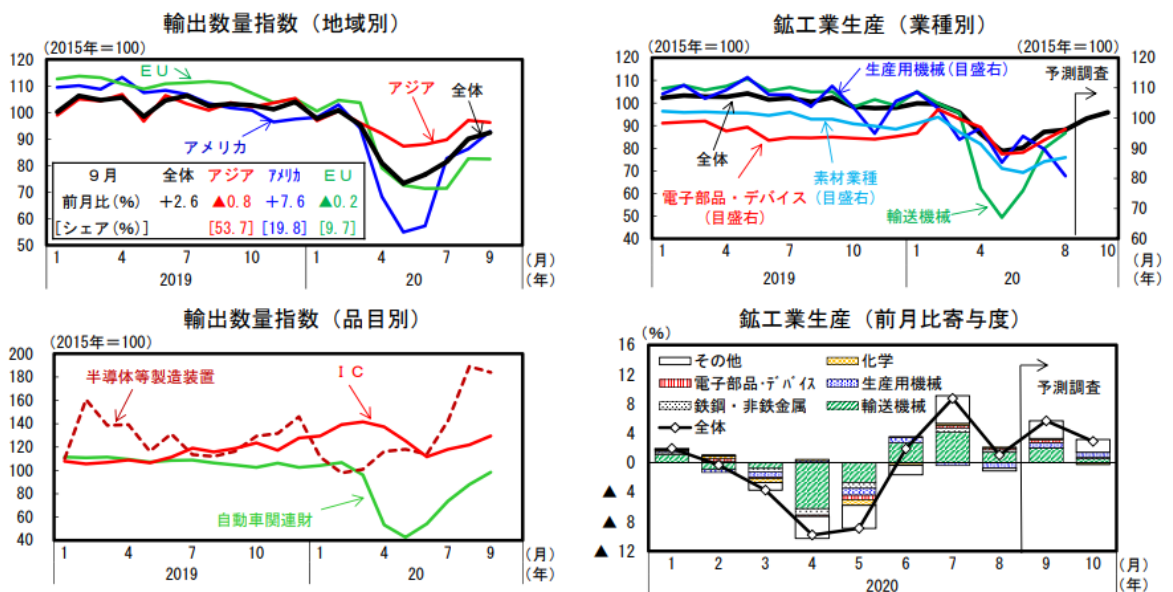
- ・ 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。

（先行き）

- ・ 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

#### 今月のポイント(2) 輸出・生産

- 輸出は、持ち直しが継続。自動車関連財に加え、中国を筆頭にアジア向けが多くを占めるIC（集積回路）や半導体等製造装置といった情報関連財もこのところ増加傾向。
- 生産は、輸出の復調を受け、輸送機械のほか、電子部品・デバイスや素材業種などで持ち直しの動きがみられる。9、10月の予測調査でも増加が続く見通し。



（備考）1. 左上図及び左下図は、財務省「貿易統計(9月速報)」により作成。内閣府による季節調整値。EUは全期間にわたり英国を除く27か国ベース。各シェアは2019年の金額シェア。自動車関連財は、乗用車と自動車の部分品を金額ウエイトで合成したもの。各品目の地域別シェア（アジア(うち中国)：アメリカ：EU）は、ICが93.3%(24.5%)：3.5%：2.7%、半導体等製造装置が77.6%(36.5%)：18.5%：2.4%、自動車関連財が21.1%(10.3%)：35.2%：11.9%。  
2. 右上図及び右下図は、経済産業省「鉱工業指数」により作成。季節調整値。右上図の素材業種は、化学、鉄鋼・非鉄金属、窯業・土石製品等を加重平均したもの。

詳細は以下より内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」をご参照下さい。

10月例経済報告資料 pdfへ：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2020/10kaigi.pdf>

（ご参考）内閣府「例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」関連 TOP ページ：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

■ 設備投資 令和2年8月実績：機械受注統計調査報告  
 (令和2年10月12日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

1. 機械受注総額の動向をみると、2020（令和2）年7月前月比7.0%増の後、8月は同19.8%増の2兆1,928億円となった。
2. 需要者別にみると、民需は前月比0.5%減の9,285億円、官公需は同28.3%増の2,677億円、外需は同49.6%増の9,190億円、代理店は同0.5%増の999億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2020（令和2）年7月前月比6.3%増の後、8月は同0.2%増の7,525億円となった。このうち、製造業は同0.6%減の3,113億円、非製造業（除く船舶・電力）は同6.9%減の4,123億円となった。

対前月(期)比

(単位:%)

需要者	期・月	2019年 (令和元年)		2020年 (令和2年)			2020年 (令和2年)			
		7-9月 (実績)	10-12月 (実績)	1-3月 (実績)	4-6月 (実績)	7-9月 (見通し)	5月 (実績)	6月 (実績)	7月 (実績)	8月 (実績)
受注総額		1.8	-5.4	3.9	-17.7	-4.8	-11.0	-8.4	7.0	19.8
民需		0.1	-4.3	-5.1	-8.4	-5.4	-10.5	-7.4	12.2	-0.5
〃 (除船電)		-4.7	-1.8	-0.7	-12.9	-1.9	1.7	-7.6	6.3	0.2
製造業		-3.5	-2.8	1.8	-16.6	-2.7	-15.5	5.6	5.0	-0.6
非製造業(除船電)		-9.3	3.6	-5.1	-9.7	-0.6	17.7	-10.4	3.4	-6.9
官公需		-4.9	-10.5	25.5	2.5	-3.1	44.2	-20.0	-30.4	28.3
外需		5.8	-7.9	8.7	-32.1	-4.6	-18.5	-3.9	13.8	49.6
代理店		-4.0	-3.1	3.6	-17.0	-2.1	-10.0	2.5	2.3	0.5

(備考) 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

詳細は以下の内閣府 ホームページをご参照下さい。

- ・ 令和2年8月実績：機械受注統計調査報告  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2020/2008juchu.html>
- ・ (ご参考) 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連 TOP ページ：  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数調査 結果の概要【2020年8月分】  
 (経済産業省 2020年10月14日発表 より抜粋)

<概況>

- ・ 製造工業生産能力指数は、97.6で前月比0.2%の上昇。  
 上昇業種： 電子部品・デバイス工業同3.5%、電気・情報通信機械工業同0.1%  
 低下業種： 生産用機械工業同-1.0%、パルプ・紙・紙加工品工業同-0.4%
- ・ 製造工業稼働率指数は、84.6で前月比2.9%の上昇。  
 上昇業種： 輸送機械工業同8.3%、化学工業同3.3%、  
 鉄鋼・非鉄金属工業同6.6%等  
 低下業種： 生産用機械工業同-1.5%、パルプ・紙・紙加工品工業同-2.1%、  
 電気・情報通信機械工業同-0.4%等

製造工業生産能力指数、2015年=100

生産能力	原指数		
	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
	97.6	0.2	-0.3

製造工業稼働率指数、2015年=100

稼働率	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
	84.6	2.9	77.3	-16.3

鉱工業指数、2015年=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	88.1 (88.7)	1.0	80.0 (80.5)	-13.8
出荷 (速報値)	87.1 (87.6)	1.5	79.7 (80.1)	-14.2
在庫 (速報値)	98.0 (97.9)	-1.3	99.9 (99.8)	-5.9
在庫率 (速報値)	123.2 (122.5)	-2.0	133.3 (132.5)	13.0

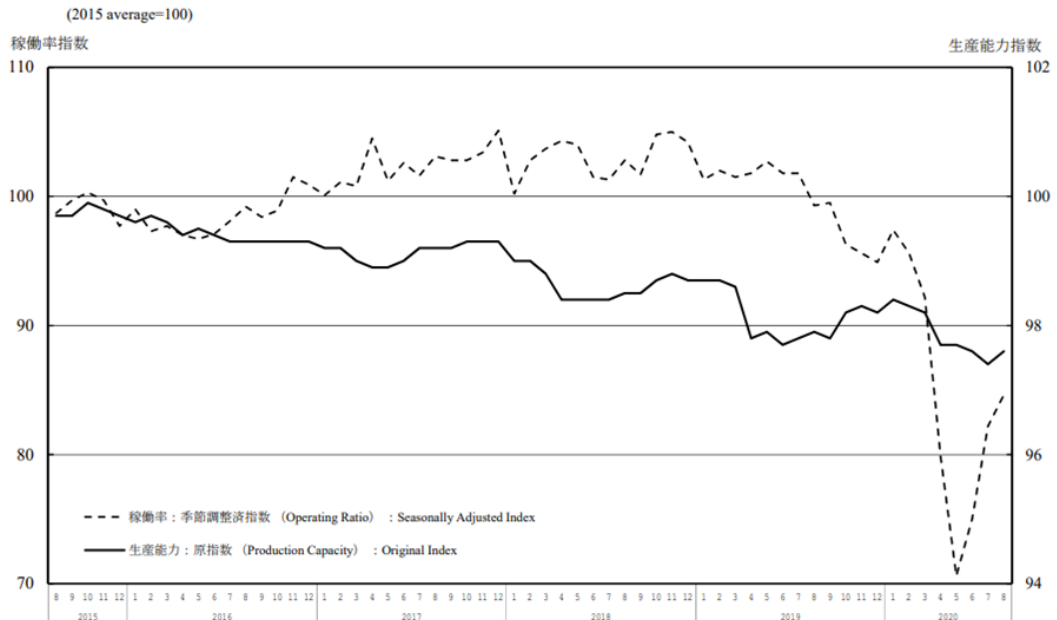
## <2020年8月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向>

製造工業生産能力指数・稼働率指数の時系列表  
Historical Data for Indices of Production Capacity and Operating Ratio

index.2015= 100

年 月	生産能力(末) Production Capacity			稼働率 Operating Ratio			Year and Month		
	原指数 Original Index		前年(同月期)比 %Change From Previous Year	季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		前年(同月期)比 %Change From Previous Year			
	前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)	前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)		前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)	前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)				
2017年	99.3		0.0			102.3	3.9	C.Y.	2017
2018	98.7		-0.6			103.1	0.8	C.Y.	2018
2019	98.2		-0.5			99.9	-3.1	C.Y.	2019
2017年度	98.8		-0.2			102.7	3.5	F.Y.	2017
2018	98.6		-0.2			102.5	-0.2	F.Y.	2018
2019	98.2		-0.4			98.3	-4.1	F.Y.	2019
2019年 II期	97.7	-0.9	-0.7	102.1	0.5	101.2	-0.6	Q2	2019
III期	97.8	0.1	-0.7	100.2	-1.9	100.5	-0.5	Q3	
IV期	98.2	0.4	-0.5	95.6	-4.6	96.3	-8.9	Q4	
2020年 I期	98.2	0.0	-0.4	95.1	-0.5	95.2	-6.3	Q1	2020
II期	97.6	-0.6	-0.1	75.2	-20.9	74.6	-26.3	Q2	
2019年 6月	97.7	-0.2	-0.7	101.8	-0.9	102.0	-1.4	Jun.	2019
7月	97.8	0.1	-0.6	101.8	0.0	107.9	2.8	Jul.	
8月	97.9	0.1	-0.6	99.3	-2.5	92.3	-4.9	Aug.	
9月	97.8	-0.1	-0.7	99.5	0.2	101.3	0.4	Sep.	
10月	98.2	0.4	-0.5	96.3	-3.2	98.5	-8.7	Oct.	
11月	98.3	0.1	-0.5	95.6	-0.7	96.1	-10.4	Nov.	
12月	98.2	-0.1	-0.5	94.9	-0.7	94.4	-7.5	Dec.	
2020年 1月	98.4	0.2	-0.3	97.4	2.6	93.6	-3.9	Jan.	2020
2月	98.3	-0.1	-0.4	95.6	-1.8	92.6	-7.3	Feb.	
3月	98.2	-0.1	-0.4	92.2	-3.6	99.4	-7.6	Mar.	
4月	97.7	-0.5	-0.1	79.9	-13.3	79.8	-21.5	Apr.	
5月	97.7	0.0	-0.2	70.6	-11.6	66.5	-33.4	May	
6月	97.6	-0.1	-0.1	75.0	6.2	77.6	-23.9	Jun.	
7月	97.4	-0.2	-0.4	82.2	9.6	87.2	-19.2	Jul.	
8月	97.6	0.2	-0.3	84.6	2.9	77.3	-16.3	Aug.	

製造工業生産能力指数・稼働率指数の推移(グラフ)  
Historical Data (Graph) for Indices of Production Capacity and Operating Ratio



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

- ・ 鉱工業指数関連 結果の概要ページ :

<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

- ・ 2020年8月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向 (pdf) 資料

[https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015\\_202008nj.pdf](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202008nj.pdf)

### 3. その他の動向

#### ■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2020年9月30日発表より抜粋)

#### 【2020年7月動向概況】

- ・ 2020年7月のグローバル出荷額は3,011億円、前年比94.5%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比103.4% 1,374億円）、接続部品（同87.7% 769億円）、変換部品（同77.7% 432億円）、その他の電子部品（同102.7% 434億円）となった。
- ・ 地域別出荷は日本（前年比82.3% 641億円）、米州（同95.4% 312億円）、欧州（同83.8% 263億円）、中国（同109.2% 1,191億円）、アジア・その他（同89.2% 606億円）となった。

#### 【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2020.09.30 発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2020年度						2020年度累計		
	5月		6月		7月		4月-7月		
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	
世界計	2,365	78	2,768	94	3,011	94	10,773	87	
(日本)	533	77	627	87	641	82	2,408	83	
品目別	受動部品	1,121	86	1,277	102	1,374	103	4,984	95
	コンデンサ	833	89	943	105	1,020	108	3,684	98
	抵抗器	101	82	110	94	113	90	433	87
	トランス	26	71	27	78	30	85	110	76
	インダクタ	158	77	193	101	206	91	741	89
	その他	1	72	2	93	4	188	14	126
	接続部品	553	67	700	87	769	87	2,636	79
	スイッチ	199	50	272	73	307	79	989	63
	コネクタ	350	84	425	100	459	94	1,636	93
	その他	2	65	2	55	2	66	10	61
	変換部品	351	66	398	76	432	77	1,564	73
	音響部品	66	56	84	72	91	79	319	68
	センサ	150	76	159	81	177	87	653	82
	アクチュエータ	134	63	154	74	162	68	590	67
	その他の電子部品	339	86	392	108	434	102	1,587	98
	電源部品	135	89	156	105	164	103	601	97
高周波部品	204	85	235	110	270	102	985	99	

#### 【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額  
 <<2020年度>>

地域別出荷金額 (億円)	2020年度						2020年度累計	
	5月		6月		7月		4月-7月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	2,365	78	2,768	94	3,011	94	10,773	87
日本	533	77	627	87	641	82	2,408	83
米州	168	48	263	84	312	95	895	67
欧州	168	48	226	74	263	83	828	63
中国	1,028	100	1,116	113	1,191	109	4,515	108
アジア他	469	74	537	87	606	89	2,136	82

詳細は以下の JEITA（電子情報技術産業協会）ホームページをご参照下さい。

[https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info\\_stati.html](https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html)

以上